

橋梁MAEの活動状況

橋梁MAE（メンテナンス・アシスタント・エンジニア）とは？

橋梁の構造、劣化原因、補修工法等に関する基礎知識及び「長野県道路橋定期点検要領」に基づく点検技術を習得し、小規模橋梁※の点検ができる技術者。

※小規模橋梁とは、比較的点検が容易で構造が単純な橋長が概ね10m未満の橋梁

橋梁MAEの養成は、令和元年度より取り組みを進めており、令和7年末時点で700名を超える方が認定・登録しています。

橋梁MAEの約4割を占める「市町村職員」の認定・登録者について、活動実態を調査しました。



市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

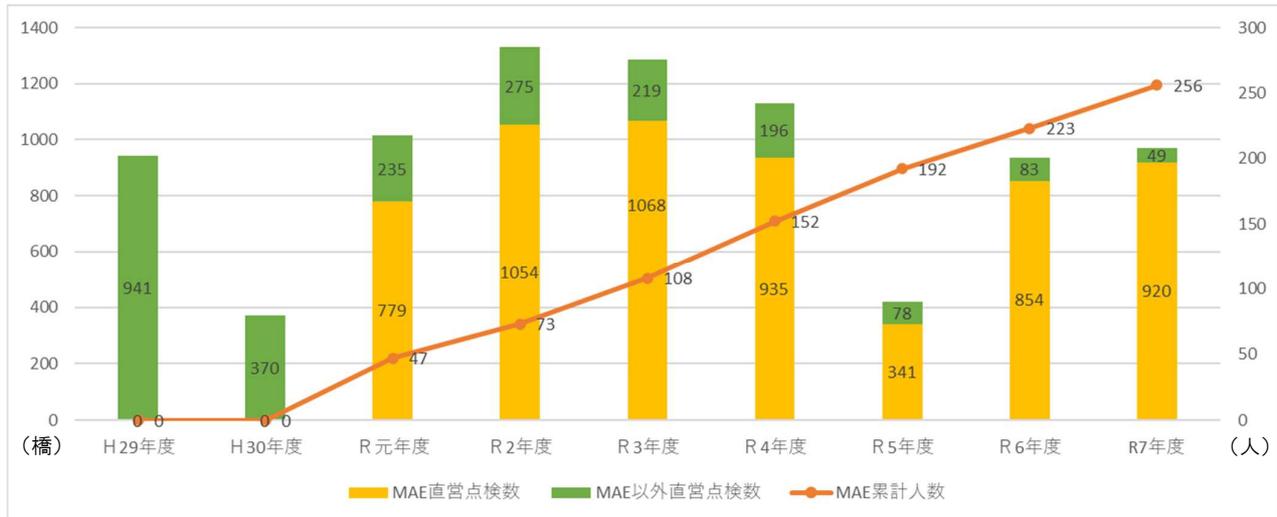
- ・調査期間 令和8年1月16日（金）～1月28日（水）
- ・調査方法 アンケート形式
- ・調査対象 橋梁MAEの認定登録者を有する市町村
- ・有効回答 42市町村
- ・調査内容 年度毎の認定登録者数
直営点検橋梁数
橋梁MAEが関与した直営点検橋梁数
橋梁MAEの効果
橋梁MAEによる直営点検の課題
直営点検の今後の予定
橋梁MAEが関与した直営点検の今後の予定
橋梁MAE取得の今後の予定



など

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

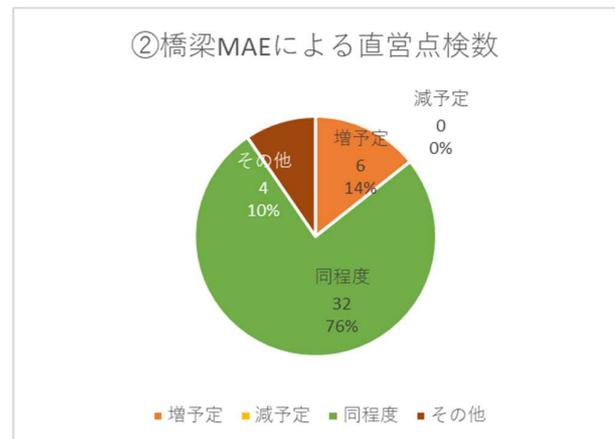
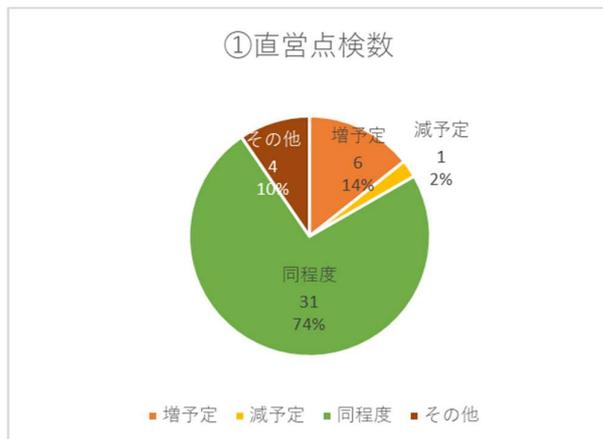
(1) 橋梁MAEによる直営点検の推移



- ・橋梁MAE直営点検数には、橋梁MAEが直接点検した場合の他に他職員の点検結果を確認した場合等も含まれます。
- ・橋梁MAEを有する市町村全体では、直営点検した橋梁数の84%に橋梁MAEが関与していました。
- ・直営点検は継続しつつも、職員不足による負担軽減のため、一括発注等による委託を選択する市町村も増加傾向となっています。

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(2) 直営点検を行う橋梁数の今後の予定



「①橋梁MAEによる直営点検数」を“増”予定としている理由

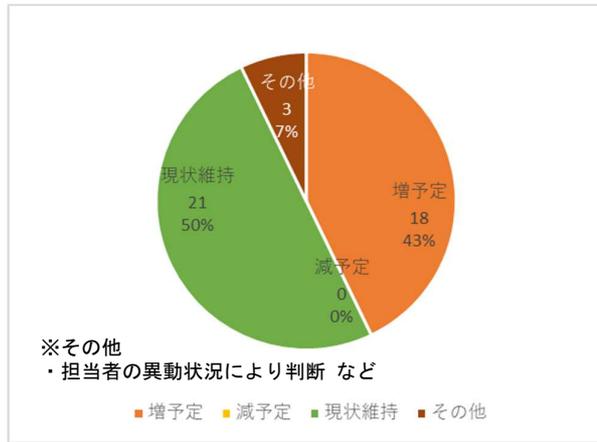
- ・点検費用（委託費）の縮減のため
- ・職員の技術力の維持・向上を図るため

「②橋梁MAEによる直営点検数」を“減”予定としている理由

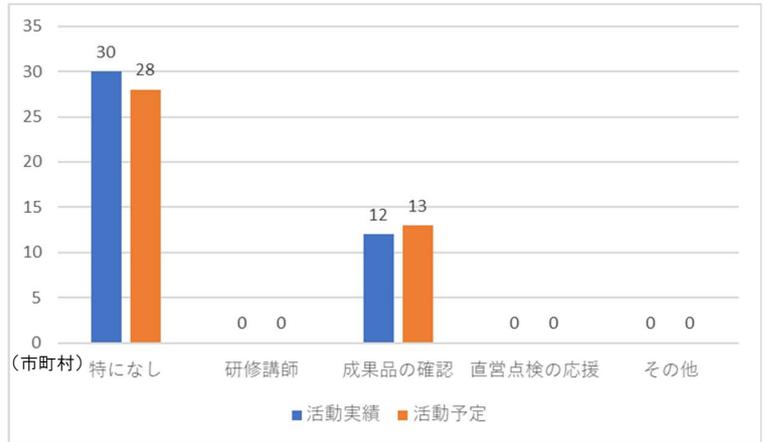
- ・職員数の減少による負担を軽減するため
- ・専門的見地が必要であり、診断結果に不安がある

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(3) 橋梁MAE取得者の今後の予定



(4) 橋梁MAEの直営点検以外の活動状況



(5) 橋梁MAEによる直営点検で困った点、不都合な点等の課題

- ・ 橋梁点検数が多く、長時間拘束される。とりまとめに多くの時間を要する。
 - 👉 「点検結果からの調書作成支援ツール」など新技術の活用が有効です
 - ・ 実務経験が浅く、点検内容の信頼性が低い。点検者により結果に差が生じる恐れ。
 - 👉 信州橋梁メンテナンス支援協議会では、相談窓口を開設しています。
- ☆協議会ホームページ : <https://www.pref.nagano.lg.jp/michikanri/mae.html>

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(6) 橋梁MAEによる直営点検の効果をどの様に感じているか

点検にかかる費用の縮減につながる

損傷状況の危険度判定がより正確にできるようになった

専門的な観点から診断ができる

インフラの維持管理や危機管理に対する職員の意識の向上につながっている

点検精度の向上、点検時間の短縮に効果がある

専門的知識を習得でき、一定以上の見識をもって結果を判断できる

点検の基礎知識・技術を身に付けられるため有効である

点検視点や判定区分の決定にバラツキがなくなり、点検内容の意思統一が図れた

講習会の未受講者に対し、点検方法等のノウハウを指導することができる

橋梁MAEを有する職員同士の意見交換により、より精度の高い点検ができていると感じる